



学ぶ 伸びる 育つ 中央っ子3

やさしく かしく たくましい

第6号

令和7年8月28日

中央小学校

文責 上原

前期後半 スタート!



三十九日間の長い夏休みも終わりました。連日暑い日が続き、国内では気温が四十度を超える記録的な暑さとなった地域もありました。

また、八月十日から十一日にかけて熊本県内を記録的な大雨が襲い、各地で甚大な被害が発生しました。近隣の市町でも河川の氾濫や道路の冠水、住宅への浸水などの被害が報道され、多くの方が被災されています。保護者の皆様やご家族、ご親戚、お知り合いの方、勤務先など、被害にあわれた方もいます。被災された皆様に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りします。

そんな中、子どもたちはそれぞれに楽しく充実した夏休みを過ごすことができたようです。久しぶりの教室では、夏休み中の出来事や思い出を話す様子も

見られましたし、夏祭りに行ったことやクワガタをたくさん捕まえたことなどを話してくれた子どももいました。子どもたちにとって、思い出に残る夏休みとなったことでしょう。地域やご家庭での見守り、ありがとうございました。

八月二十七日(水)から、前期後半が始まりました。夏休み中に二人の新しいお友だちが増え、児童数五百三十三人で前期後半をスタートします。久しぶりに子どもたちの笑顔が校舎に戻ってきた。休み中静かだった学校が一気に活気づきました。やはり、子どもたちがいてこそこの学校です。



「夏休み明け集会」では、大雨の際に天草市の旅館に宿泊していたサッカークラブの中学生が、浸水の拡大を防ぐためにバケツリレーで水をかき出した記事を紹介し、困っている人を助けるヒーロー「アンパンマン」の話をしました。

子どもたちにとってアンパン

マンは、悪者を倒し、困っている人を助ける正義の味方(ヒーロー)です。しかし、顔がぬれたり、傷ついたりすると力がでなくなる弱点があります。それでもアンパンマンは、「元氣が出るよ」と、困っている人や弱っている人に、自分の顔をわけあげます。「強いからヒーローではない。喜ばせるからヒーローだ。」という作者の言葉からも、アンパンマンというキャラクターに込められた想いが伝わります。

「人を喜ばせるのがアンパンマンの心です。みんなも、優しさや思いやり、笑顔、元氣、あいさつ、ふわふわ言葉など、人を喜ばせる心や力を持っています。前期後半、みんなと一緒に学習したり、遊んだり、行事に取り組んだりする中で、人を喜ばせるアンパンマンの心を『中央っ子の心』として大切にして欲しい。」と伝えました。



暑い日はまだまだ続いています。熱中症そして感染症にも配慮しながら、子どもたちの学習活動を進めて参ります。ご家庭でも、毎日の健康観察を行っていただくとともに、生活リズムを整えていただきますようお願い

いたします。

前期後半も「友達大好き 勉強大好き 運動大好き 好きです中央!」を合言葉に、一日一日を大切にしながら、自分の好きなことや得意なこと、がんばりたこと、ちょっとした苦手なことにもどんどん挑戦して欲しいと思います。そして、一人一人のよさや笑顔が輝く中央小学校にしていきたいと思います。

保護者・地域の皆様には、今後もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



お世話になりました

八月二十三日(土)のPTA美化作業には、早朝からたくさん保護者の皆様にご参加いただき、大変ありがとうございました。今回は、校舎周辺や中庭、運動場等の除草作業にご協力いただきました。一緒に来ていた子どもたちも頑張ってくれ、夏休み中に伸びた雑草を取ったり、刈り取った草を集めたりしていたのだおかげで、すっきりした状態で夏休み明けをスタートできました。お世話になりました。

